

群馬県中小企業団体青年協議会

講習会・懇親会

12月18日、高崎市・エテルナ高崎において、「イマドキの若手社員のトリセツ」をテーマに、講習会を開催した。講師は、ツナグ働き方研究所所長で、株式会社フィラガッティ研究所代表取締役の平賀充記氏。



平賀氏

平賀氏はまず、Z世代の価値観と行動原理を説明し、職場で起きがちな上司と若者のすれ違いの事例につきその背景を解説した。そして、育った環境が違うので価値観が違って当たり前と再認識する必要性を説き、一見すると不可解な若者の言動も、偏見を捨てその背景を知れば納得できることもあると説いた。

続いて、今どきの価値観を持つ若者に職場への

愛着を高めってもらうためには、「心理的安全性」が確保された環境づくりが重要と説明。この他、成長を支援し自立自走を促すための手法を紹介した。

●心理的安全性●

組織としての成長や従業員の満足度の向上に効果的な要素で、従業員が組織の中で、気兼ねなく自由に意見や提案を出せる状態・雰囲気を目指す。

講習会終了後の懇親会は、川手和義会長の挨拶の後、来賓の商工中金前橋支店・福岡仁志支店長の乾杯の発声でスタート。和やかに交流が行われ、倉持拓郎副会長の中締めにより閉会となった。



福岡支店長

群馬県商店街振興組合連合会

役職員講習会・新年会

2月8日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、「まちづくりへの第一歩～商店街の取組みから、地域の魅力・価値向上を考える～」と題して役職員講習会を開催した。講師は山形まちづくり株式会社常務取締役・下田孝志氏。

下田氏は、山形県の七日町商店街振興組合において取り組んできた商店街活性化対策を紹介し、



下田氏

商店街組織の枠を超えた取組みの必要性から、まちづくり会社を設立した経緯を説明した。

さらに、遊休不動産再生事業や新規創業者育成事業など、まちづくり会社が実施してきたエリアマネジメントにつき、各



まちづくり会社が主体となり、商業エリアとして整備した事例事業に対する考え方や、今後の展望などを語った。

講習会終了後、新年会を開催。今川守会長による主催者挨拶の後、来賓を代表して、群馬県産業経済部地域企業支援課・木村茂生次長が挨拶を行い、中島庸一副会長の発声で乾杯。参加者は和気あいあいとした様子で親睦を深め、武田秀雄副会長が中締めを行い、閉会となった。